

「新型コロナウイルスと介護現場」

新型コロナウイルスの感染拡大によって、大きな危機に直面しているのが「介護」の現場だ！ WITH コロナ！ 新たな取り組みをご紹介します！

掲載記事の情報は、8月5日頃のもので、また紙面の関係でアンケート内容すべてを掲載できなかったことをご了承ください。

感染防止対策は

- ・緊急事態のため防護服を準備
- ・飛沫防止パーティション
- ・夏用の冷感マスク
- ・非接触体温計
- ・LINEを利用した面会
- ・月1でコロナ対策会議の開催
- ・保護者宛たよりの臨時号発行
- ・代替企画でドライブを実施



面会受け入れは

- ・県外からの帰省等の情報を聞く
- ・面会場所は中庭でガラス越し
- ・COVID-19チェックリスト (記名・所属名・渡航歴含む) の記入
- ・面会時間15分以内の制限
- ・Skypeでのオンライン面会 (予約制)
- ・面会是一部介助した人が密接を防ぐ空間
- ・週1回1家族30分以内

職員の研修、会議は

- ・会議はソーシャルディスタンスを保つ
- ・少人数(10人以下)のミーティング
- ・遠方の研修参加は自粛
- ・内部会議は窓を開放
- ・回覧研修で対応
- ・回数を減らして短時間
- ・社外研修はオンライン研修
- ・資料を配布し意見を募っている
- ・権利擁護、虐待アンケート等の書面を配り、意識を持ち続けるよう発信
- ・学研ナーシング活用し視聴



物資の不足はあるものの現在は解消傾向

このように今はオンラインでの会議・研修やソーシャルディスタンスを保った会議が当たり前になりました。

県内でもコロナが発生しており山介理事や会員もZOOMを使って、オンラインでコロナでの介護現場の現状やブロック研修などなど話し合いました！



介護現場から

- ・暑くなりマスク着用での業務はきつい
- ・面会制限しているのでご家族に近況報告のポストカードや写真を送付している
- ・利用者は不安の中で生活しているので正しい情報を明るく伝える努力をしている
- ・面会禁止が長引き、利用者の心身面での不調にならないか家族の顔を忘れてしまわないか不安が大きい



介護現場で働く職員へのコロナ慰労金の給付は一人20万円か5万円ももらえる

介護施設より新型コロナウイルス感染症が発生もしくは濃厚接触者に対応

5万円 してない

20万円 した

参考:「介護サービス事業所・施設等に勤務する職員に対する慰労金の支給事業」について(厚生労働省HP)

令和2年度 山口県介護福祉士会一般研修予定

- 10月11日(日)『こんな時どうする!?介護職のための急変時対応』中止
講師:阪和住吉総合病院副院長 美濃良夫氏
- 10月25日(日)・11月8日(日)『介護過程の発展力を培う研修会』(2日間研修)
講師:(株)高森福祉会本部次長 安田国彰氏
- 11月1日(日)『事例・介護研究発表会』 助言者:元宇部フロンティア大学教授 溝田順子氏
- 11月22日(日)『介護職のためのリスクマネジメント研修』
講師:山口県弁護士会所属弁護士 通山和史氏
- 12月15日(火)『介護職種の実習指導員講習』講師:山口県介護福祉士会会員講師

会員の活動紹介！ 今回は周南ブロック 藤本真樹さん

福祉まちつなぎラボ
コネクト・ワン

Connect One



「誰にもやさしいまちづくり」

私が目指しているのは、福祉目線の「まちつなぎ」です。人と人 心と心 まちとまちを様々な福祉活動を通してつなぎ、誰にもやさしいまちづくりを実現していきます。そして、それを次世代へつないでいきます。



採用力向上に係る コンサルティング

【コンサルティング事業】
施設や事業所のこれまでの流れを邪魔せず、激変させず、「すきまを埋める」コンサルティングを行います。数ヶ月経過したときに、職員のスキルや意欲、チーム全体の力が「上向きになっている」ことを実感できると思います。介護・福祉の世界で25年間培ったノウハウを余すことなくお伝えします。

人材育成に係る コンサルティング

介護・福祉関係の研修や講演の講師等、承ります!!

【地域の福祉力向上プロジェクト】

私たちは、地域の福祉が盛り上がるための活動を行います。子どもを初め、人に元々備わっている「福祉の心」を引き出す様々な取組やプロジェクトを行っていきたくと考えています。

■ふくしの寺子屋プロジェクト

2017年から実施している、子どもを対象とした福祉教育のプログラムです。今後は、山口県内全域でこのプログラムを実施したいと考えています。



■ふくもりミーティング

福祉や介護の世界をもっと盛り上げたいと思っている専門職で、テーマを決めてワークショップを行います。コンセプトは「楽しく、面白く」。

■福祉ひとつなぎプロジェクト

最前線で活躍するつなぎびと(対人援助を行うすべての人)の憧れの連鎖を創っていきます。憧れの連鎖が起ることによって、離職者の減少や福祉専門職人口の増加につながっていくのではないかと考えています。

令和2年度後期 各ブロックより研修案内

周南ブロック主催 岩柳ブロック共催
接遇マナー研修
10月18日(日)13:00~15:00

講師:温品 富美子氏(有)ケイ・アンド・ワイ
会場:あいばーく光 定員:80名 参加費:会員500円、一般1,000円
ソーシャルディスタンスをお願いするときの言葉遣いやマスクをしたままでの対応のコツなど、今だからこそ学ぶ接遇マナーがあります。この時期をお互いに思いやって乗り切りましょう!

社会福祉士会・介護福祉士会下関ブロック共催

見方は人それぞれ!!
“知る”って?
9月17日(木) 19:00~20:30
講師:松谷 法史氏(山口県介護支援専門員協会 副会長)
会場:川中公民館 参加費:会員100円、一般500円
物の見方や考え方は違う! その中で人を知るためにはどうするか 対人援助職者として熱い気持ち・情熱をもって一緒に学んでいきましょう! 福祉に携わる新人にもわかりやすい研修内容です。今回は初めて社福下関ブロック・介福下関ブロック合同での企画です。ですのでぜひご参加お願いします。定員になり次第締切、お早めに!